

分娩経過

| | 分娩第1期 陣痛開始から子宮口全開(10cm)までの時期 初産婦 10～12時間／経産婦4～6時間 | 分娩第2期 子宮口が全開してから 赤ちゃんが生まれるまでの時期 初産婦 2～3時間／経産婦1～1.5時間 | 分娩第3期 胎盤がでてくるまでの時期 初産婦 15分～30分 経産婦 10分～20分 | 分娩第4期 分娩後2時間 までの時期 |
|--------|--|--|--|--|
| お産の進み方 | <p>■子宮口1～2cm ■子宮口3～8cm ■子宮口8～9cm</p>  | <p>■子宮口10cm(全開)</p>  | <p>■胎盤がでてきます。</p>  | |
| 過ごし方 | <p>■子宮収縮はまだ弱く 笑顔の出る余裕があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本を読んだり音楽を聴いたり、リラックスして過ごしましょう。 ベッドで横になっているよりもお散歩をしたり、座ったりしましょう。 食べたいときに食べたいものを食べて、エネルギーをたくわえておきましょう。 水分をしっかりとりましょう。 <p>■子宮収縮が徐々に強くなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子宮収縮が始まったら深呼吸をし、腰やお腹をマッサージすると楽です。またアクティブチェアに座るのもよいでしょう。 破水をしていなければシャワーを浴びたり、カイロや蒸しタオルなどで腰や足を温めるのもよいでしょう。 固形物が食べられなくても、水分補給はしっかりしましょう。 <p>■子宮収縮が強くいきみたくなできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子宮口が全開するまであと少し、呼吸法で何とかいきみを逃しましょう。 陣痛がおさまってきたら力を抜いてリラックスです。 | <p>■子宮収縮が強くなり、どんなに我慢しても自然にお腹に力が入ってしまうような状態になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 助産師の指示があったら子宮収縮の波に合わせていきみ、赤ちゃんを力に合わせて乗り切りましょう。 陣痛のないときは全身の力を抜いてリラックス。 汗を拭き、のどの渇きを潤してもうひと頑張り。 しっかり目を開けて赤ちゃんの誕生する瞬間を見届けてください。 <p>おめでとございます！</p> | <p>■軽い子宮収縮が起こり、胎盤がはがれてきます。</p>  | <p>■ゆっくり休めます。</p>  |
| 処置 | <p>破水があれば、抗生剤の内服か点滴があります。妊娠中の腔培養でB群溶連菌(GBS)が検出されている場合は、定期的に抗生剤の点滴を行います。助産師が定期的に様子を見に伺いますが、何かありましたらナースコールでお知らせください。</p> | <p>点滴(ぶどう糖)をします。ご希望があればご家族がへその緒を切断することも可能です(別途費用がかかります)。赤ちゃんを抱っこして写真撮影をします。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>立会いについて 1名様のみ、ガウンを着て分娩室に入室していただけます。</p> </div> | <p>産後に傷がないか確認し、傷があれば縫合します。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>分娩後の面会について 感染予防のため、お子さんの分娩室への入室はお断りしています。</p> </div> | <p>清拭を行い、パジャマに着替えます。子宮収縮や出血、血圧などを確認します。出血が落ち着いているのを確認してお部屋に移動します。</p> |